

2021年9月2日

各位

株式会社安評センター

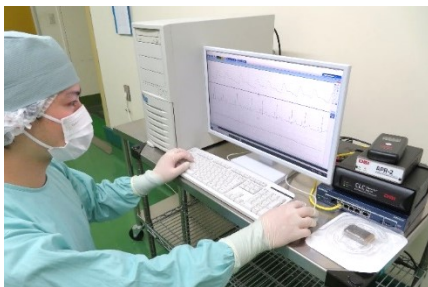
## 「大動物用次世代デジタルテレメトリーシステム PhysioTel® Digital」

### 導入のお知らせ

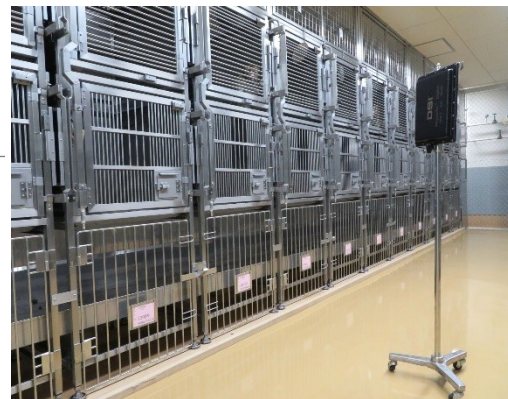
トランスジェニックグループの株式会社安評センター（代表取締役社長：福永健司、静岡県磐田市）は、この度、大動物用次世代デジタルテレメトリーシステム PhysioTel® Digital（Data Sciences International 社）を導入いたしましたので、ここにお知らせいたします。

導入した PhysioTel® Digital は、大動物の生理学モニタリング用テレメトリーにおける、世界初のデジタルシステムです。デジタル通信によって、クリーンでより信頼性の高いデータ取得を実現させたことで、これまで不可能であった動物のグループハウジング環境下における計測も可能となります。さらに、3軸加速度センサー内蔵次世代型テレメトリー送信器を用いることで、実験者による動物との対面観察は不要となり、自然な行動の観察が非常に困難とされる霊長類におきましても定量可能となります。

当社は、2020年にサル施設を増設し、GLP基準安全性試験サービスを開始しております。今回、大動物用次世代デジタルテレメトリーシステム PhysioTel® Digital を導入することにより、安全性薬理試験<sup>1)</sup> ガイドライン（平成13年6月21日医薬発第902号医薬局長通知）に基づくイヌおよびサルの安全性薬理コアバッテリー試験<sup>2)</sup> サービスを開始いたします。



実験動物に計測装置を装着し、無麻酔・非拘束条件下で血圧、心拍数、心電図等を、遠隔で測定することが可能です。



- 1) 安全性薬理試験とは、治療用量及びそれ以上の曝露に関連した被験物質の生理機能に対する潜在的な望ましくない薬力学的作用を検討する試験として定義される。
- 2) コアバッテリー試験とは、生命維持に重要な影響を及ぼす器官系における被験物質の作用を検討することを目的とする安全性薬理試験をいう。コアバッテリー試験については、原則として、医薬品の安全性に関する非臨床試験のGLP基準に従って実施する必要がある。

#### 【株式会社安評センターについて】

多数の製薬企業・化学企業等からの基金をもとに1978年に設立された公益財団法人食品農医薬品安全性評価センターが前身です。GLP（Good Laboratory Practice：優良試験所基準）及びAAALAC（国際実験動物ケア評価認証協会）認証施設において、科学性と信頼性に立脚した安全性評価を通じて人類の幸福に貢献することを使命と位置づけ、医薬品、食品、食品添加物、農薬、一般工業化学物質等の化学物質の安全性を評価するための各種試験研究を受託しています。

#### お問い合わせ先

株式会社 安評センター 事業推進部

〒437-1213 静岡県磐田市塩新田 582-2

E-Mail : [contact@anpyo.co.jp](mailto:contact@anpyo.co.jp) URL : <https://www.anpyo.jp/>